



公立大学法人
福井県立大学
Fukui Prefectural University

福井県立大学との共同研究のもと開発。油脂分解性能に特化。

特許第7710664号

適用可能な排水

厨房水・食品製造業全般・食肉加工排水
給食排水・惣菜排水・調味液排水 その他

使用 方法

- 【初期投入】 生物処理槽（ばっ気槽等）へ槽容量に対し、1,000～3,000mg/ℓを直接投入する。
 (例) ばっ気槽: 200m³ × 1,000mg/ℓ ÷ 1,000 = 200ℓ
- 【定期投入】 原水槽又は流量調整槽へ排水量に対し、10～30mg/ℓを薬注装置等により毎日投入する。
 (例) 排水量: 100m³/日 × 30mg/ℓ ÷ 1,000 = 3ℓ/日
- 【培養槽使用】 培養槽へ20ℓ/回を定期投入する。
 (例) 20ℓ/月 × 1～2回/月 = 20～40ℓ/月

荷姿／荷袋 20ℓ(20kg)／キュービ容器

- 【取扱い及び保管上の注意】
- 取扱いの際には特に危険はありませんが、保護手袋等の着用をお勧めいたします。
 - 商品到着後早めに使用してください。冷蔵施設又は冷暗所で保管してください。
 - 乳幼児、子供の手の届かない所に保管してください。
 - 使用期限、製造日より1ヵ月以内に使用してください。

お客様の排水ごとに適したオーダーメイド微生物製剤のご提案も可能です。お気軽にご連絡ください。



株式会社 クオードコーポレーション

本 社 〒919-0321 福井県福井市下河北町第11号13番地
TEL.0776-38-2911 (代) FAX.0776-38-7470

東 京 支 社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目13番4号 SKビル2F
TEL.03-5541-7871 FAX.03-5541-7875

大 阪 支 店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目14番33号 TCSビル4F
TEL.06-6380-3670 FAX.06-6380-3671

埼 玉 支 店 〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2丁目22番12号
TEL.048-767-7570 FAX.048-767-7571

福 井 支 店 〒919-0321 福井県福井市下河北町第11号13番地
TEL.0776-38-3806 FAX.0776-38-6284

金 沢 支 店 〒920-0944 石川県金沢市三口新町2丁目5番8号 プレジール202号
TEL.076-263-7591 FAX.076-263-6476

名古屋支店 〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1丁目1番22号 KT葵ビル5F
TEL.052-938-5200 FAX.052-938-5201

仙 台 支 店 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町16番15号 プライムゲート晩翠通7F
TEL.022-302-5330 FAX.022-302-5335

2025年8月



QUAD

株式会社 クオードコーポレーション



あらゆる有機系排水処理に、自然の浄化作用に着目した、
革新的でクリーンな微生物製剤のご提案。
「微生物製剤 QqBiO」が問題解決へと導きます。

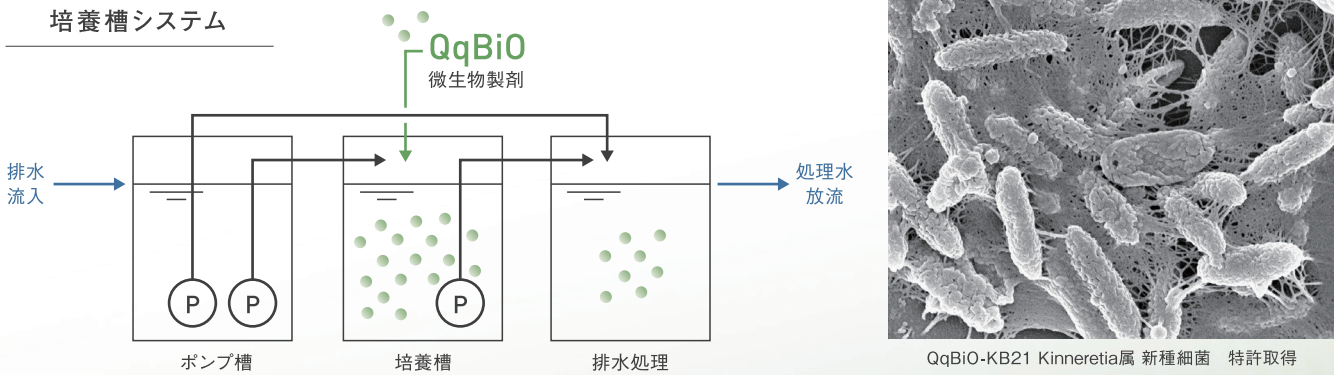
自然の浄化作用に着目した、画期的な排水処理システムを実現します。

微生物は、地球上のあらゆる水圏域に生息しており、自然環境の循環サイクルを担うことで環境浄化に大変重要な役割を果たしています。
当社ではこの自然の浄化作用に着目した微生物製剤「QqBiOシリーズ」を開発致しました。

培養槽システムと併用することでさらに効果的に。

弊社独自の培養槽システムを導入することで、原水を栄養源として現地大量培養が可能となり、
少量の微生物製剤の投入で十分な効果を期待することができます。

培養槽システム



驚異的なBOD除去能力

BOD源となる汚濁物質の細胞内への取込・分解能が高く、驚異的なBODの除去能力を発揮します。

油脂類を難なく除去

油脂類は長い鎖状分子構造をしており、排水処理においては難分解物質と言われています。この鎖状分子構造を高い分解能力で細かく分断し、細胞内へ取込み易い状態にすることで油脂類等の難分解物質をも難なく除去します。

従来との比較で見える、QqBiOの優位性。

排水量に対して約10mg/lの濃度で添加した場合の水質データです。

処理対象排水	原水水質			他社製 微生物製剤			QqBiO		
食肉加工排水 (下水道放流)	BOD	1210	mg/ℓ	BOD	401	mg/ℓ	BOD	90	mg/ℓ
	SS	300	mg/ℓ	SS	157	mg/ℓ	SS	140	mg/ℓ
	n-Hex	284	mg/ℓ	n-Hex	33.6	mg/ℓ	n-Hex	5未満	mg/ℓ

沈殿槽スカムの状況



余剰汚泥の低減

生物処理においては、微生物自身がBOD源やn-Hex源を分解する過程で得られたエネルギーを元に細胞分裂を繰り返すことで、余剰汚泥(SS)の発生に繋がります。しかし、その高い分解能力は、処理状況の進行とともに余剰汚泥自身の自己消化も促進し、結果的に余剰汚泥(SS)の発生量が低減する傾向があります。

SV値測定



MICROBIAL
MATERIAL
QqBiO
S E R I E S